詫間中学校学校通信　The Way of the Turtle ～着実・誠実・結実～

浦島伝説

令和２年７月２７日
第 ７ 号

がん教育を行いました

７月１６日、在宅看護師の関千代美さん、三豊総合病院認定看護師の白川律子さんの２名をゲストティーチャーにお迎えし、３年生を対象に、がん教育の授業を行いました。

早期発見のための検診の大切さや、がんになった時の心のケア等について、医療現場の声を聞き、生徒たちは、様々な考えをもつことができたようです。

【３０年後の自分へのメッセージ】

〇２人に１人はがんになることを覚えていますか。毎日バランスの良い食事や運動を行い、がんを他人事と考えないで、「自分がなったら」「ならないために」などについて考えていますか。がんは怖いイメージがあるけれど、早期発見すると治る可能性はあるから、検診をしっかり受けてね。

〇肉が好きだからといって、肉ばかり食べていませんか？お酒を飲み過ぎていませんか？これらのことを続けているとがんになりやすい体になりますよ。２人に１人はがんになる時代です。きちんとがん検診を受けてがん予防しましょうね。

【授業の感想や家族に伝えたいこと】

〇祖父は、私が小６の時にがんによって亡くなりました。優しくてよく遊んでくれた祖父は、抗がん剤治療によって、足の裏の皮がはがれ、とても辛そうで、見ていられませんでした。私も、人事ではないと気づきました。原因になることを避けたいです。

〇今日の授業で、がんの人が多くてびっくりしました。がんにならないように、お酒は少なめに。「最近飲んでない」が口癖にならないように。

〇がん検診をちゃんと受けていますか？がんになると私も辛いし、周りの人も辛いので、日々の生活習慣を見直してみてください。私は、がんについて、今日勉強して、早期発見すると早く治ると知って、本当にがん検診を受けて欲しいと、改めて感じました。

応援メッセージありがとうございました

保護者のみなさま、そして地域の皆様。たくさんの応援メッセージをありがとうございました。総体やコンクールが中止され、悲しい気持ちもありましたがメッセージを見て、少し気持ちが楽になりました。

３年生は、今、最後の交流試合やコンサートなど、締めくくりにむけて、真剣に楽しく部活動に励んでいます。どんな状況でも一生懸命に取り組む姿を見ると、「さすが詫中生」と嬉しくなります。

１・２年生は、そんな先輩の姿を見て、良い伝統を受け継いでいってください。

３年生は、残り少ない部活動を全力でやり遂げ、全員で良い終わりを迎えましょう。

生徒会長　　今井　颯

７月２３日から多くの部活動で、交流試合が始まっています。また、夕涼みコンサートや最後の作品作りなど、３年生は、それぞれに部活動の最後の締めくくりの時を迎えています。

次号では、部活動を終えた３年生の声をお届けする予定です。

●●保護者の皆様へお知らせ●●●